



1型糖尿病専門外来のご紹介

1型糖尿病とは

糖尿病にはさまざまなタイプがあります。日本人に多い2型糖尿病は、遺伝要因と環境要因(肥満やストレスなど)の両方により、インスリン(血糖値を下げるホルモン)の分泌が減少したり、インスリンが効きにくくなったりして発症します。治療は、食事・運動療法のみの方、内服療法を行う方、インスリン療法を行う方などさまざまです。

1型糖尿病は、発症に自己免疫機序が関わっていることが多いとされています。インスリンを分泌する細胞が破壊されてインスリンが全く分泌されなくなるため、治療にはインスリン療法が必須です。生活に合わせてインスリン投与量を調整することで、基本的に日常生活に制限はありません。



インスリン注射

当院の1型糖尿病専門外来

日本では1型糖尿病の専門外来は多くありませんが、当院では1型糖尿病専門外来を設けています。インスリンポンプや持続血糖モニタリング(CGM)などの最先端のデバイスを用いた治療も提供しています。インスリンポンプとは、インスリンを持続的に注入する小型のポンプで、少量のインスリンを常時体内に注入し、食事時には簡単なボタン操作でインスリンを追加注入します。CGMは、皮下組織にセンサーを留置することで、血糖値を連続的に測定します。低血糖時や高血糖時にアラートを出す機能もあり、スマートフォンと連動させることもできます。CGMのデータを用いてインスリン投与量を一部自動調整するインスリンポンプ(ミニメド780G)もあります。当院では、患者様のライフスタイルに応じた治療法をご提案いたします。



ミニメド™780G システム

1型糖尿病についてお困りの際は 糖尿病専門外来(※小児科)にご相談ください

※成人・小児とも対象です。

お問い合わせ：小児科外来 TEL：0721-24-3100 (代表)